

令和元年

8月号



山岳救助隊 ニュース



埼玉県警察
山岳救助隊
秩父警察署
0494-24-0110
小鹿野警察署
0494-75-0110

本紙は埼玉県警察ホームページ【暮らしの安全 山岳情報 山岳救助隊ニュース】に掲載されています

本年【6～7月】埼玉県内の山岳遭難発生状況 件数7件 10人（死亡1人・不明2人・重傷1人・軽傷1人・無事5人）

発生日	山岳名	PT構成	年齢・性別	遭難状況等	死傷別
6月4日(火)	伊豆ヶ岳	2人	70代・男性	下山中、道迷い防止のために展開されたロープの脇から尾根に侵入し道迷い	無事
			70代・女性		無事
6月6日(木)	両神山	単独	70代・男性	上落合登山口から入山後、行方不明	不明
6月16日(日)	両神山	単独	30代・男性	坂本登山口から登山中、尾の内コースに迷い込みピバーク、その後斜面を登り返していたところ滑落	重傷
			20代・女性		無事
6月22日(土)	両神山	3人	20代・女性	午前11時30分に上落合登山口から入山、登山中に尾の内コースに迷い込み、日没を迎え行動不能	無事
			20代・女性		無事
			20代・女性		無事
6月26日(水)	猪狩山	単独	60代・女性	登山中、斜面から滑落	死亡
7月13日(土)	霧藻ヶ峰	3人	40代・男性	登山中、濡れた登山道でスリップし転倒	軽傷
7月27日(土)	雁坂峠	単独	40代・男性	溪流釣りのため、出会いの丘から入山後、行方不明	不明

クマ、スズメバチに注意

山岳地帯には様々な動物が生息しており、時に人に対して危害を加えてくる場合もあります。埼玉県の山では、春から秋にかけてクマやスズメバチによる被害が発生しています。平成28年から平成30年にかけて、クマの襲撃による遭難が4件発生（1人が重傷、2人が軽傷、2人が無事救助）し、スズメバチの襲撃による遭難が3件発生（1人が死亡、4人が軽傷）しています。クマやスズメバチによる被害を防止するために次のことを参考にしてください。

クマ

遭遇しないために

・クマ除け用の鈴やラジオの携行、手を叩く等、音を出し、クマに自分の存在を知らせながら進行しましょう。

遭遇したとき

- ・クマから視線をそらさず、刺激を与えないように静かに後退しましょう。慌てて逃げるとクマを刺激し、襲い掛かってくる場合もあります。
- ・万が一、クマが襲ってきた場合は、両手で後頭部や首を保護し、致命傷を回避する行動をとってください。
- ・アウトドアショップ、登山用品店等で販売されているクマ撃退スプレーも効果的です。

スズメバチ

遭遇しないために

- ・スズメバチは、黒い部分を攻撃してきます。なるべく黒色以外の服装を着用しましょう。
- ・臭いは、スズメバチを刺激するので香水等はつけないようにしましょう。
- ・ハチの巣を見かけた場合は可能な限り離れましょう。

遭遇したとき

- ・スズメバチは、よく動くものに反応するため、見かけた場合は手で払う等刺激を与えるようなことはせず、静かに離れましょう。
- ・攻撃されたときは、すぐに逃げましょう。
- ・万が一、刺された場合はポイズンリムーバー（吸引器）で吸引し、流水で洗浄しましょう。

山岳地帯は野生動物の住みかであるため、注意をしても遭遇する可能性があります。野生動物に遭遇した場合は、落ち着いて対処できるように、シミュレーションや救急資器材の準備をしておきましょう。

夏山における山岳遭難の防止

熱中症に注意

夏場の登山では、多量の汗をかきます。このときに体内からは、水分だけでなく、ミネラルやビタミンも失われています。そのため、のどが渴く前にスポーツ飲料等でこまめな水分補給をしましょう。

沢や水場がある山なら水を補充する機会がありますが、湧水を当てにしていると、時期によっては枯れていることがあります。水分は多めに準備し、塩分も適度に補給しましょう。

朝早い時間に出発し、目的地に早く到着（早出早着の基本を守る）

山は、平地と比べて積乱雲が発生しやすく、午前中は晴れていても午後から急激に天候が悪化することがあります。天候の急変（雷雨等）に備え、早い時間に目的地に到着できるゆとりのある登山計画を立てましょう

予想外の天気、落雷に注意

天候が急変した場合は、山小屋等の屋内に逃げ込むのが最善の策です。他に避難する手段がなく立木の下での雨宿りは、落雷を受けた樹木から人体へ雷が飛び移る「側撃雷」に巻き込まれる危険があるため注意が必要です。

立木のとっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、木から4m以上離れた「保護範囲」に退避し、姿勢を低くして、雷雲が通過するのを待ってから安全な場所に避難しましょう。

万全な装備を準備、ヘルメット装着の勧め

万が一の場合に備えビバーク(緊急時に野宿すること)に耐えられる最低限の装備を携帯しましょう。また、ヘルメットを携行し、岩場や痩せ尾根、急な斜面を通過する際は、転倒・滑落・落石などの危険から身を守るためにヘルメットをかぶりましょう。

登山届を必ず提出

登山届は、山岳遭難が発生したときに警察による捜索や救助活動を迅速に行うために活用するものです。

「低山や日帰りの計画だから大丈夫」等といった自信は、遭難の元です。万が一の場合に備え、登山届を提出してください。

登山届は、登山する山を管轄する警察署や交番、登山ポストに提出し、家族や職場にも登山届の写しを渡しておきましょう。



野生動物に注意

携帯版 登山届

携帯電話の電波が入る場所で、いつでも登山届を提出することができます。

届出の内容は必要最小限を入力するものです。

埼玉県内の山登り等を計画している方は、ぜひご利用ください。

スマートフォン用
QRコード



注意

携帯版登山届はスマートフォンのみに対応しています。

従来型の携帯電話(フィーチャーフォン)
android4.4以前のスマートフォン
ios4以前のスマートフォン
からはご利用になれません。

隊員のつぶやき...

梅雨が明け本格的な夏の暑さがやってきました。ゲリラ豪雨にも注意が必要です。

無理のない行動計画と、こまめな水分補給、適度な塩分補給を心掛けてください。